

●アトピー性皮膚炎治療について●

皮膚科 幸野 健

アトピー性皮膚炎は代表的なアレルギー性疾患ですが、不思議なことに、開発途上国で少なく先進国ほど多い傾向があります。つまりアレルギーだけでなく、ストレスや生活習慣などが関連する現代病の一つであるということです。

大きく進展したアトピー性皮膚炎治療

従来、ステロイドの副作用が心配されてきました。近年、研究が進み、どの程度のステロイドをどのくらい使用すれば副作用が出ないかということも分かって来ました。重要なことはスキンケアで保湿薬をバランスよく使用することで再発を防ぎ、ステロイドの使用量も減少できるということです。関西労災病院の皮膚科外来ではこれらを細かに指導させていただきます。



新しい免疫抑制療法

アトピー性皮膚炎は、ある意味、免疫力が強すぎて起こる病気です。最近、免疫抑制剤を外用・内服する治療が脚光を浴びるようになってきました。ステロイドを全く使用せずに治療することも可能です。重症の方、今までの治療で反応しなかった方には免疫抑制薬の内服治療が有効です。当初は感染を起こしやすくなったり、血圧が上がったりしますので(軽い症状だけです)、短期間入院して治療を開始されることを是非おすすめします。

総合的な治療が重要です

アトピー性皮膚炎ではスキンケアやアレルギー対策だけでなく、食生活の適正化やストレス対策が非常に重要です。漢方薬を用いた体質改善治療もおすすめできます。これらについてご相談のある方は是非ご来診ください。

入院治療も一つの賢い選択肢です

数日、のびのびと入院して自分の皮膚とアトピー性皮膚炎について、我々と共に考えてみるのも非常によい方法です。それから今後の生活方針を考えてみませんか？

～★～ 平成21年度腎臓病教室 ～★～

日時：平成21年8月1日(土) 14:00～
場所：関西労災病院 管理棟2階CD会議室
内容：医師、看護師からの話
管理栄養士からの話(栄養管理について)
ソーシャルワーカーからの話(社会保障について)
※無料ですので是非ご参加ください。

夏のタベ ★～ サマーコンサート ～★

日時：平成21年8月27日(木) 17:30～
場所：関西労災病院 玄関ホール
主催：患者サービス委員会



平成21年度「糖尿病スクール」スケジュール予定(後半)

月/日	医 師	看 護 師	薬 剤 師 予防医療センター	栄 養 士	歯科衛生士 臨床検査技師	特別講演	資料・展示
7/16		教育入院と 看護相談外来のご紹介	快眠のコツ	人工甘味料と 健康食品	検査とデータの 見方・考え方		血糖測定器 フードモデル 資料など 
8/20	糖 尿 病 網 膜 症		口より体を 動かそう	調味料と食塩に ついて			
9/17	糖 尿 病 腎 症		トピックス	腎症の食事		尼崎医師会医師 金山 拓司 先生	
10/15	糖尿病と 心 臓 病	冬の足の清潔 (フットケア)	高血圧・高脂血症	高脂血症の食事			
11/19	昼 食 会		寒い冬の過ごし方	外食・院内 食堂の利用			
12/17		旅行などの イベント時の過ごし方	クスリの飲み方と 飲み合わせ	年末年始の食生活	口の病気②		

理 念

● ● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ● ●

基 本 方 針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。

狭心症・心筋梗塞ってどんな病気？

循環器科 栗田 政樹

狭心症とは？

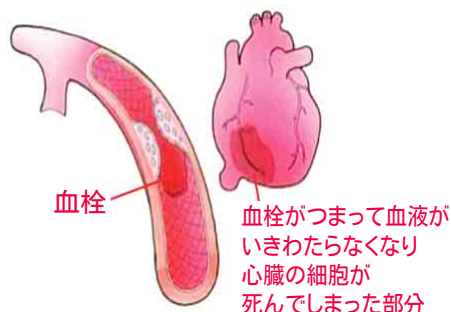
心臓は全身に血液を送るために、1日に10万回以上も収縮しています。この心臓に栄養(血液)を送るための血管を冠動脈(かんどうみゃく)と呼びます。これが動脈硬化で細くなり、栄養を十分に送れなくなると狭心症になります。多くの場合、階段の上り下りや重い荷物を運ぶときなど、体を動かしているときに発作は起こります。一時的に「胸が締め付けられるように苦しくなる」といった症状は狭心症として有名ですが、3割くらいの患者様は「胃が痛い」「肩がこる」「首が絞められる」「あごがだるい」「息が切れる」など、狭心症とはわかりにくい症状のために発見が遅れることがあります。発見が遅れると心不全や不整脈、心筋梗塞になったりして危険なので注意が必要です。このような症状があれば、かかりつけ医にご相談ください。



狭心症の風景

心筋梗塞とは？

細くなった冠動脈に血液の固まりができ、血管が詰まると心筋梗塞になります。狭心症の症状が持続するため、多くの患者様は救急車を呼ばれますが、4～5人に1人は病院にたどり着くまでに死亡します。幸いに病院に到着して治療を受けても、退院までに約10人に1人は死亡します。なぜそんなに死亡率が高いのでしょうか？心筋梗塞になると心臓の筋肉は壊死(細胞が死ぬこと)します。壊死した筋肉は収縮なくなり、「心不全」や「ショック状態(血圧が著しく低下すること)」になることがあります。また、「致死性不整脈」により心臓が停止してしまうことがあります。また、壊死した筋肉は豆腐のようなため、心臓が破れて「心破裂」を起こす危険性があります。不安定狭心症は心筋梗塞の一手手前の状態です。不安定狭心症の場合、緊急で入院して心筋梗塞になるのを食い止める治療をしなければなりません。



心筋梗塞は動脈硬化と血栓が原因

検査および治療は？

まず、通院検査(心電図、心臓超音波検査、血液検査、心筋シンチグラフィ検査、冠動脈CT検査など)を行います。これらの検査で狭心症が本格的に疑われたら心臓カテーテル検査を行い、冠動脈のどの部位が狭くなっているかを調べます。これらの検査結果をもとに、①飲み薬による治療、②心臓カテーテル治療(風船やステントで冠動脈を広げる治療)、③心臓バイパス手術の中から治療方法を決めます。心筋梗塞が疑われたら緊急で心臓カテーテル検査をしなければなりません。心臓カテーテル検査は心臓にカテーテルという細い管を挿入する検査のため入院が必要です(関西労災病院では2～3泊)。検査の危険性を心配される患者様がおられますが、命にかかわる合併症の発生率は非常に小さく(0.1%以下)、狭心症や心筋梗塞の恐ろしさとは比べると遙かに小さいものです。

狭心症・心筋梗塞を予防するためには？

高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満・喫煙があると動脈硬化の進行は加速します。これらを幾つも持っている、狭心症や心筋梗塞になる危険性は急激に上昇します。また、血縁者に狭心症や心筋梗塞を経験された方がおられる場合も危険性が高いと言われています。逆にタバコをやめ、これらの病気をしっかり治療することは狭心症や心筋梗塞の予防につながります。

